

第9章 事後調査計画

9.1 事後調査を行うこととした理由

対象事業の実施による環境への影響は、環境保全措置を実施することにより低減されるものであるが、一部の環境保全措置については不確実性が存在することから、事後調査を実施する。

9.2 事後調査の項目及び内容

事後調査の項目及び内容を表 9.2-1(1)～(2)に示す。

表 9.2-1(1) 事後調査の項目及び内容

項目	対象種	事後調査の内容	
		調査時期	調査方法
陸上植物	アマクサシダ、エビラシダ、コモチシダ、イワヘゴ、ヒメカナワラビ、ランヨウアオイ、イチヨウラン、ツチアケビ、ベニシュスラン、コ克蘭、ムカゴサイシン、カヤラン、ヒトツボクロ、アリノトウグサ、リンボク、コミヤマスマレ、カラスザンショウ、アリドオシ、タチキランソウ	<ul style="list-style-type: none"> ・工事中 (架線工事までの主要な工事期間) ・年1回 (対象種の開花期) 	<ul style="list-style-type: none"> ・移植等の環境保全措置を実施した個体の活着状況を確認するための調査
	アマクサシダ、イヌチャセンシダ、ハカタシダ、イワヘゴ、サネカズラ、カナクギノキ、ギンラン、キンラン、イチヨウラン、ジガバチソウ、ヒトツボクロ、キバナノショウキラン、アリノトウグサ、リンボク、カナウツギ、ゴンズイ、アリドオシ、ツルカノコソウ	<ul style="list-style-type: none"> ・工事中 (架線工事までの主要な工事期間) ・年1回 (対象種の開花期) 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の影響の有無を確認するための調査

表 9.2-1(2) 事後調査の項目及び内容

項目	対象種	事後調査の内容	
		調査時期	調査方法
陸上動物	クマタカ	<ul style="list-style-type: none"> ・工事中 (架線工事までの主要な工事期間) ・年4回 (1～8月の繁殖期) 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事に対する忌避行動の有無や利用域の変化の有無を確認するための定点調査 ・営巣地や繁殖状況を把握するための林内踏査
	ハヤブサ	<ul style="list-style-type: none"> ・工事中 (架線工事までの主要な工事期間) ・年6回 (2～7月の繁殖期) 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事に対する忌避行動の有無や利用域の変化の有無を確認するための定点調査
	ツミ	<ul style="list-style-type: none"> ・工事中 (架線工事までの主要な工事期間) (上記, クマタカ, ハヤブサの調査中に合わせて実施し, 繁殖を示唆する行動等が確認された場合は, 林内踏査等の必要な調査を実施。) 	
生態系	クマタカ	「陸上動物」の「クマタカ」と同様	

9.3 事後調査の結果により環境影響の程度が著しいことが明らかとなった場合の対応方針

事後調査の結果, 環境影響の程度が著しいことが明らかとなった場合は, その原因の解明に努めるとともに, 中間段階にあっては, できる限りの改善を図る。

9.4 中間報告書及び完了報告書の作成の時期についての基本的な考え方

中間報告書の作成時期は, 工事の中間段階にあたる時期 (2023～2024 年頃) とし, 完了報告書の作成時期は, 工事が完了する時期 (2026 年頃) とする。